

1 該当する町の施策方針	「22のめざすべきまちの姿」 災害への備えや日常生活の安全が確保されているまち 「61の施策方針」 防災意識の高い災害に強いまちにする
2 解決へ向けて取組んだ地域課題	提案型協働事業は、子育て支援課（保育園）、学校教育課（小中学校）防災交通課（防災啓発パネル製作協力）などの関係各部課間の調整により、縦割り行政を横断的に連携して、協働取組みが出来た。保育園、小中学校への防災・減災啓発パネルの設置により町の担い手である子供達や保護者等にも町防災訓練で利用する事が出来た。保育園と中学校の共同訓練は生徒に共助としての認識も醸成され、教職員方々に訓練継続への理解が得られた。地震災害時危険が顕在化していた緑丘小校内の消火器42本と展示机や傘立ての固定も完了した。
3 協働対象部署	学校教育課：小中学校 子育て支援課：保育園 防災交通課：啓発パネル製作協力 企画政策課：各部課との取組み調整
4 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	(1) 災害を学び備える防災・減災啓発パネルを掲示して、子供の頃より災害時の自助共助認識を高める。自然災害等への意識向上を図るには、日頃勉学に勤しむ教師方々と地域で子供達の防災学習を展開する事が防災意識の高い人づくりとなり、災害に強いまちになると考えている。緑小内で顕在化した転倒備品の固定もグリーンパや教師方々の協力で取組み出来た。 (2) 保育園、小中学校内の日常的に学習出来る場所に展示した更に町防災訓練6カ所の避難所に展示し啓発活用が出来た (3) 園児(全保育園児)児童(3・4・5年生全員)生徒(中学3年生武高1年)を重点に子供達や町の多くの方々にもみて頂いた (4) 広報、新聞、CCNC、産業まつり、防災訓練で紹介された (5) その他・啓発パネルは保育園の防災紙芝居でも利用された
5 事業実施により得られた効果	中学校と保育園との共同避難訓練が継続取組みとなった 防災交通課と学校教育課の防災ガイドブック取組みが出来た 防災・減災パネルの利用拡大(町防災訓練や産業まつりでも展示)
6 次年度以降の事業展開	(1) 学校教育課と協働して、防災減災学習と訓練実践教室 (2) 子育て支援課と協働して、防災紙芝居と避難訓練の継続 (3) 防災交通課と協働して、防災ガイドブック活用した防災学習 (4) 防災・減災パネル提供事業の継続 ■ボランティア活動が役立貢献感となり遣り甲斐として展開出来る
7 その他	武豊高校1年生の防災実践教室でも啓発パネルの活用が出来た 小学校未使用アナログテレビは一カ所に集め処分待ち案を提案した

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。